

令和4年度 地区懇談会
(幌別鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区) 議事録 (概要)

令和4年10月6日(木) 18:00~19:15

鉄南ふれあいセンター 出席者22名

6 登別市・白老町 令和12年度以降のごみ処理施設について

質問：

- ・ゼロカーボンシティの達成のためプラスチックごみの分別が必要なことは承知したが、分別したプラスチックの処理はどのような方法になるのか。

回答；市民生活部

- ・プラスチックごみの分別について、国が法律で3通り定めている。
- ・市が考えているのは、今まで燃やせるごみに入れていたプラスチックごみを別の袋に入れてもらい、分別で集める。クリンクルセンターで集めたプラスチックごみをさらに分別し、国が決めたプラスチックを専門に扱う機関へ持って行き分別してもらう形である。
- ・プラスチックごみをクリンクルセンターで燃やすのではなく、再利用する施設に持って行くというような流れを考えている。

7 地域の共通課題についての懇談：

幸町のすずらの家の前に放置されている廃棄物の処理について

質問：

- ・すずらの家前の私有地に長年放置されている産業廃棄物について、町内会独自で土地所有者へ連絡を取ったが、一向に改善されない。
- ・産業廃棄物の近くに川が流れており、放置された廃棄物のごみはその川へ流れてしまっている。ごみや土砂が堆積し、詰まってしまうと近くを通る列車を止めてしまうのではないかと懸念している。
- ・廃棄物の問題が改善されるよう、北海道へ継続的に交渉してほしい。

回答；市民生活部

- ・産業廃棄物の指導は、所管である北海道胆振総合振興局主導で行っている。本件については、産業廃棄物の中に一部一般廃棄物があり、一般廃棄物所管の市も定期的に北海道へ進捗状況を確認し、互いに連携を取りながら、基本年に1回現地確認をしている。
- ・今年は8月19日に胆振総合振興局と合同で土地所有者と現地確認し、指導を行った。
- ・土地所有者の建設会社からは、廃棄物の片付けを行っていた方の体調が悪く、片付けが進められない状況であったため、今後については社長が片付けを進める旨回答があった。
- ・その際、北海道は土地所有者へ、まずは草刈りを行うこと、そして廃棄物については適切な処理業者を使いながら処理を進めることを指導し、その都度、胆振総合振興局に連絡し、

市と道が互いに現地確認をするような内容で指導を行っている。

- ・なお、9月15日に市が現地確認を行った際には、敷地の草刈りは行われていたものの、廃棄物については進展なしというような状況であった。
- ・今後も土地所有者に少しでも改善が図られるよう、胆振総合振興局と連携しながら根気強く指導に努めていきたいと考えている。

7 地域の共通課題についての懇談：防災ハンドマイクの購入費の助成について

質問：

- ・7月28日に北海道から発表のあった北海道太平洋沿岸の巨大地震に伴う津波の人的被害について、幌別鉄南地区連合町内会は大変な危機感を持ち、この発表の後に町内会長会議を開催した。
- ・防災行政無線から周知される市からの災害情報を、登別市連合町内会による緊急災害時情報伝達網で伝達し、単位町内会で多くのハンドマイクで呼び掛ける仕組みを構築していかなければいけないと思っている。そのためハンドマイクは、素早い情報伝達のため町内会に必要な備品であると考えている。
- ・素早い避難を呼び掛けることに重点を置き、瞬時に防災行政無線からの情報を伝達するため、ハンドマイクの購入に市から何らかの支援をいただきたい。

回答：総務部

- ・北海道太平洋沿岸における津波被害想定について、早期避難行動をどれだけ早く取れたかが重要になるものと考えている。
- ・大津波警報等については、防災行政無線や防災メール、TwitterなどのSNS、またテレビやラジオからの放送、そして登別市連合町内会による緊急災害時情報伝達網を活用して避難情報の伝達が行われることとなっているが、さらにお住まいの地域でハンドマイクによる呼び掛けがあれば、早期避難率も上がると考えている。
- ・ただ、ハンドマイクの購入に対する補助については、予算的なこともあり、ハンドマイク購入にかかる財源を確保するため、国や道の補助金、交付金などを活用できるか調べさせていただき、前向きに検討したいと考えている。

意見：

- ・前に市からハンドマイクを2台もらったが、今回、町内会で2台ハンドマイクを購入した。2,580円で10w、5wのものを購入したが、10wくらいのサイレンの出力がないと非常に聞こえづらい。
- ・10wのものを購入しても、1万円前後で5本購入できるかと思うので、町内会でも早めに対応しようと思っている。
- ・助成を受ける前に町内会で購入してしまった分のハンドマイクにも助成をいただければと思う。

意見：

- ・ハンドマイクは頻繁に使うものではないので、しばらく使わなければ劣化する。
- ・私の町内会でも2台あるうち1台は使えなくなっている。
- ・壊れることを前提とするならば、2,000円代のものを購入することも考えられると思う。

意見：

- ・先ほどからハンドマイクの助成について、予算がかかるもので検討が必要と言っているが、予算ではなく人の命を考えてほしい。
- ・うちの町内会では、常時いる方にハンドマイクを使って避難を呼び掛けサイレンを鳴らすことをお願いしようと思っている。50世帯の町内会で合計8台になるようハンドマイクを購入する。災害時に稼働できるハンドマイクを6割と考えても3台稼働できる。このような体制で夜中の災害でも対応可能と考えている。
- ・助成は全額とは考えていない。6割でも5割でも良いので早急に補助体制を整えてもらいたい。

意見：

- ・ハンドマイクについて、普段使っていないと津波災害時に使おうと思っても使えない。
- ・各町内会で役員や常時いる人にハンドマイクを渡すと思うが、災害はいつ来るか分からないため、常に練習をしておかなければならない。
- ・早急に助成していただき、1つでも多く各町内会へ用意していただきたいと思っている。

意見：

- ・10月4日にJアラートが鳴ったと思うが、交通量の多い時間でもあり、Jアラートが鳴っていることは分かったが、何を言っているか分からなかった。
- ・毎朝、幌別東小学校児童のバス通学の見守りをしているが、登校時にJアラートが鳴った際の対応について、子どもや親に徹底がされていないと感じている。
- ・市のホームページを確認したが、国の方針なのか市の方針なのか分からなかった。方針や対応について教えてもらいたい。

回答：教育委員会教育部

- ・各学校で危機管理マニュアルを作成し、災害時やJアラートなどの場合にどのように対応するかを定めている。
- ・基本的にはJアラートが鳴った場合、登校前であれば家で待機、登校途中であったり屋内にいたりした場合は低く姿勢を保つという形になる。学校に着いている場合は、校内で窓から離れるというような対応になると思われる。
- ・今回、バスが来てしまい、実際にバスに乗ったということで対応としては間違いではなかったと考えている。
- ・校長会の場で危機管理マニュアルの確認、再確認を各校長にお願いした。各校長から各学

校で危機管理マニュアルの最新の部分に対応してもらうように改正いただき、また、子どもや保護者も知らない方がたくさんいるようなので、その辺の周知徹底も図るようお願いしている。今後はそのような内容のものは各学校から通知されるというように考えている。

回答：市長

- ・話を聞いて非常に危機感を持った。サイレンが聞きづらかったなどの話があったが、サイレンについても検証させていただきたいと思っている。
- ・ハンドマイクやJアラートのように緊急事態が起きたときに自動で電源がオンになるラジオの購入に予算が付けられるよう一度検討し、国や道の補助金を使わせてもらえるよう強く要望していきたいと思っている。

その他

意見：

- ・幌別町の第一工芸社前の道道の除雪の状態が良くない。
- ・去年は歩道の1m離れた所を除雪するようなやり方をしていた。
- ・大きな除雪車で除雪を行った後に歩道に雪が残っている場合には、歩道を除雪してくれるよう、できるだけきれいに無駄なく除雪車を走らせてほしい。

回答：都市整備部

- ・道道弁景幌別線の除雪について、歩道のような狭いところは電柱や標識の柱などで除雪しにくい所もあると思うが、北海道へ歩道の除雪区域、区間について話をしたいと思っている。

意見：

- ・市道の除雪について、マンホールの周りの雪が解けて、穴が開いたような状態になると、車がそこに突っ込み壊れてしまう。もう少し削ってもらいたい。

回答：都市整備部

- ・これから令和4年度の除雪体制に向けて、業者と検討しなければならないと考えていたため、今回のようなお話しがあったことを調整させていただく。
- ・マンホールの話があったが、下水道が温かいため、マンホールの周りの雪が解けてしまうかと思われる。そのような場合は土のうを入れるようにしているが、できれば上手に避けて運転していただけると非常に助かる。